

平成25年度 活動報告書

Annual Report 2013.4~2014.3



Accountability Self-Check 2008



TERRA PEOPLE ASSOCIATION

認定NPO法人 地球市民の会

目次 事業報告
会計報告
事業計画

P 1~11
P12~26
P27~30

予算
役員・理事リスト
変遷・組織図

P31~32
P33~34
P35

平成25年度 地球市民の会の活動の総括

2013年度も皆様のご支援により、
新規事業も実施、充実した活動をいたしました。

● **国内事業 日中韓大学生交流プロジェクトTOMODACHI100実施しました。**

日本との関係が悪化する中国、韓国から日本語を学ぶ大学生を招聘し、日本の大学生とともに語り合いながら、相互理解と未来をともに作り上げる事業を実施しました。国家間の関係が悪くなった時こそ、草の根である市民がその関係を保つ努力をしていかなければならないというのは、地球市民の会創始者、故・古賀武夫永久名誉会長が唱えていた理念に沿った考え方でした。中韓から先生1名を含む18名の大学生が参加し、11日間のプログラムを実施しました。

● **30周年事業を実施しました。**

地球市民の会設立30周年を記念し、記念誌「てら・ぴーぶる」の発行、記念講演会として、「北澤豪講演会・あなたが世界の子どもたちに出来ること～国際貢献・ボランティアのススメ～」を実施しました。

● **ミャンマー事業 大型事業 インレー湖給水プロジェクトを実施中です。**

外務省のODA(政府開発援助)事業である、日本NGO連携無償資金協力により、ミャンマーシャン州の広大な湖・インレー湖(足漕ぎボートを駆使する少数民族で有名)の水質悪化による地域住民の健康被害を解決するために衛生的な水を供給する事業を行いました。約6500万円の事業となり、大規模な給水施設の建設を現在も実施中です。

● **ミャンマー事業 3校の学校を建設しました。**

サウンウン小学校、カンカウン準中学校、タウンピョー保育園の建設を行いました。日本中の多くの方々にご支援をいただき、たくさんの子どもの未来に希望を灯すことができました。

● **ミャンマー事業 女性の自立支援事業を実施しました。**

国際ボランティア貯金寄附の助成を受け、ミャンマーシャン州ニャウンシュエ・タウンシップのタンボジ村郡の女性を対象に食品加工や手工芸の研修を行いました。農村女性の生計向上を目指し、今後も事業を継続していきます。

● **初のミャンマー招聘研修が実現しました。**

地球市民の会の現地スタッフを含むミャンマーの青年リーダー6名を佐賀に招聘し、農業や農業流通の現場を研修しました。参加したミャンマー側にとって初めての海外研修でしたが、佐賀県内のたくさんの方々のおかげで日本とミャンマーの絆を結ぶ研修となりました。

● **奨学金事業 176名の奨学生に奨学金を支給しました。**

従来のタイ、スリランカ奨学金に加え、ミャンマータンボジ寮の高校生への奨学金を新たに始めました。また、タイでは長年実施してきた中学生～高校生を支援する「最低限の教育支援」から、高校生～大学進学を支援する「貧困の輪から抜け出すための教育支援」への移行を目指し、新しい奨学金制度の実施が始まりました。それに合わせ、現地で子どもたちを守る先生方のボランティアグループ・TPAタイの活動が始まるなど、支えあいの輪が広がる1年となりました。

平成25(2013)年度 活動方針の振り返りと課題

活動方針

30周年事業とともに会員・サポーターを拡大しよう

30周年事業に対する多大なご協力やご参加をいただき、地球市民の会への参加の層も広げることができました。各事業でも多くのサポーターの方が参画していただきました。しかし、目標とする会員拡大にはいたらず、引き続き基盤強化を含めて、会員の拡大を目指し努力して参ります。

● 重点活動

・中山間地元気再生事業の実施

少子高齢化が進む中山間地の集落にて夏休みにふるさとステイを実施しました。佐賀市・福岡市から子どもたちが参加し、中山間地にて自然体験や命の授業など、地域に受け入れて頂いての開催でした。171名の子どもたちの参加、また地域からも多くの方にご協力頂きました。他にも有明木綿事業やベジボーイズ活動も継続しています。オリーブ事業は資金調達が上手く進まず、次年度に持ち越すこととなりました。

・中国交流事業「TOMODACHI100」の実施と成功

100人の募集を目指しましたが、18名の参加にとどまり予定より縮小しての開催となりました。日中韓の学生の参加者や、ホストファミリーやプログラム受け入れに協力いただいた方々と多くの縁を結ぶことが出来、3カ国の友情を佐賀の地で築くことが出来ました。

・ラオス事業立案と事前調査

30周年記念事業の実施、また資金面の課題により、ラオス事業の事前調査に至りませんでした。

・Webサイトの充実と会員、サポーターとの関係性を深める

皆様のご支援により、新しいホームページを開設することができました。また、双方向性の高いフェイスブックページの投稿も充実、会員さんをはじめ多くの方にご覧いただき、「いいね」を800まで伸ばすことができています。

・リスクマネジメントマニュアルを作成設置する

リスクマネジメント委員会を地球市民の会理事会内に設置し、地球市民の会版危機管理マニュアルの作成が進みました。平成26年度には発表する予定です。

● 事業別重点活動

ミャンマー事業重点事項：2年後のハンドオーバーへ向けての基盤整備

(コミュニティビジネスを軸とした自立事業への移行)

「循環型共生社会の自立発展事業」(JICA《国際協力機構》草の根技術協力パートナー型)をミャンマー事業の中核とし、現地の自立の形を整えてきました。これをもって、第一期のミャンマー事業を現地での持続可能な活動へと移行できるよう取り組んで参りました。その中で、もう少し完全な事業の現地化までに時間を要することと、これまでの成果を活かし、今まで支援が入らなかった地域での活動を展開していくことがミャンマーでの使命ではないかという議論の元、第二期ミャンマー事業の立案が決定しました。

タイ事業重点事項：新・奨学金プログラムの始動

2013年、タイ現地にてボランティアグループ・TPAタイの発足と共に、新・地球市民奨学金を高校生～開始することが出来ました。新しい制度では、「最低限の教育支援」から、「貧困の輪から抜け出す為の教育支援」として、①奨学金支給額の増加、②高校生～大学生への奨学金の支給を実施。2014年度より大学生への支給を目指します。

スリランカ事業重点事項：交流プログラムの継続(年度ツアー実施)

2013年は、残念ながらツアーを実施することが出来ませんでした。2014年度、スリランカの高校生をまた佐賀に招聘し、佐賀での交流プログラムを継続予定です。

平成25年度事業報告概要

事業	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲、人数	支出額(千円)
国内事業	ふるさとステイ 夏キャンプ	7月～8月	佐賀市富士町関屋、三瀬中鶴	2人	佐賀県、福岡県小学生 171名 富士町/三瀬協力者 12名	1,716
	中山間地元気再生事業	通年	佐賀市富士町	2人	佐賀市富士町、協力者延べ120名	24
	日中韓大学生交流事業 TOMODACHI100	8月	佐賀県内各所	2人	日本人大学生20名、中国人大学生7名、中国人引率者1名、韓国人大学生10名、協力	1,320
	韓国交流事業	2月	韓国釜山	1人	日本人大学生8名、韓国人大学生8名	10
	委託事業 (協働おもしろ大百科、ESDワークショップ)	通年	佐賀市内	2人	参加者 延べ200名	596
	講師派遣事業	通年	佐賀県内各所	5人	聴衆者 2500名	17
	30周年記念事業	2月	佐賀市	5人	講演会等参加者200名	2,281
	小計					5,967
奨学金事業	奨学金支給	5月/12月	タイ : クーキャオ校・ボーゲウ校 ノンハーン校 スリランカ: サンガミッタ女子校 ミャンマー: タンボジ青少年育成センター	5人	タイ受給生 138名 スリランカ受給生 25名 ミャンマー受給生 13名 里親 164名	1,187
	スタディツアー	12月	クーキャオ校、ボーゲウ校、 ノンハーン校、ジョムシー小学校	2人	日本人参加者1名 クーキャオ校・ボーゲウ校・ ジョムシー小の生徒及び教師、 地域住民	365
	タイ自立発展事業	12月	ジョムシー小学校	2人	ジョムシー小生徒及び教師、 周辺地域教師、地域住民	163
	その他 (さとおや交流会、 ばん・たわんコンテナ出店、 世界とツナガル！国際協力セミナー)	通年	佐賀市内	6人	日本人参加者延べ100名	11
	小計					1,728
ミャンマー事業	教育・人材育成支援 (サウンウン小学校、カンカウン準中学校、 タウンピョー保育園建設)	通年	カローT/S、サウンウン村 ニャウンシュエT/S、カンカ ウン村 タウンジーT/S、タウン ピョー村	6人	サウンウン: 児童数41名、先生3名 カンカウン: 生徒数185名、先生6名 タウンピョー: 園児数70名、先生3名	4,068
	青少年環境教育事業(エコポイント)	通年	タンボジ	5人	タンボジ寮生14名、スタッフ7名	743
	インレー湖給水事業 (外務省NGO連携無償資金事業)	通年	ニャウンシュエT/S、4村落群	6人	4村落群の住民15,508名	47,195
	タンボジ女性の自立支援事業	通年	ニャウンシュエT/S、タンボジ村落群	5人	周辺に住む女性とタンボジ寮生、合計24名	1,046
	ピンダヤ/インレー湖緑化事業 (みどりの募金)	通年	ニャウンシュエT/S、タンボジ村落群	5人	タンボジ村民100名	1,431
	循環型共生社会の自立発展事業 (JICA草の根パートナー型)	通年	タウンジーT/S、チャウタロンサ ブT/S、セレー、ナウン カ、ハムシー地区	5人	左記3地区に住む農民約25,000名	16,086
	スタディツアー	通年	タウンジーT/S、ニャウンシュエT/S、チャウタロンサ ブT/S	5人	各ツアー参加者合計46名	429
	小計					71,029
東日本大震災支援事業	ハッピーストックプロジェクト	通年	宮城県仙台市	2人	東北からの招聘者12名、参加 佐賀県民100名	2,103
	よかとこ佐賀プロジェクト	通年	佐賀県	3人	イベント参加者のべ40名	5
	だいでんいっしょプロジェクト	通年	佐賀県	8人	イベント参加者のべ200名	20
	小計					2,128

平成25年度 国内事業報告

年間事業

2013年4月1日～2014年3月31日

5月18日：第12回通常総会@佐賀市市民会館

12月1日：創立30周年記念事業@ホテルニューオータニ佐賀

2月：新かちがらす(日韓大学生交流事業)@韓国釜山

創立30周年記念事業

ホテルニューオータニ佐賀にて30周年記念事業が実施されました。

30周年記念講演会として、元サッカー日本代表の北澤豪さんに講演をしていただきました。総勢200人の方々にご参加いただきました。北澤さんの話の中に、「まずは自分が動くことが必要である。同時に動くことは多くの方々に支援や協力してもらってできていることであるということ。感謝しないわけにはいかない。誰かの役に立ちたいという気持ち、多くの方の協力の二つはサッカーも国際協力も共通していることである」と言われていました。その後は、30周年記念式典が行われました。先に、地球市民の会の活動を紹介するムービーをご披露しました。ご挨拶や祝電披露の後、これまで支援いただいた会員さんに感謝状を贈呈いたしました。また、青年の主張も行われ、思い出や暴露話などお話しいただきました。面白いお話が多く楽しい思い出を作れました。

新かちがらす(日韓大学生交流)

当会とパートナー団体である、釜山韓日文化交流協会と連携して日韓未来交流を実施しました。この事業は毎年行っている日本人の大学生が釜山でホームステイを通して韓国の学生と交流を深める事業です。日程は、2014年2月22日(土)～27日(木)の5泊6日。日本から参加の大学生は8名、韓国からの大学生も8名の参加でした。ホームステイや韓国文化体験でマッコリづくり、佐賀で取り組んでいる地域づくりの事例発表などを行いました。なかなか国同士では問題が多い中、参加大学生は6日間という短期間でしたが、深い交流ができました。

通年事業

【講師派遣】(小学生～大人まで)2271名

ドリームパーク(神埼市の小学校への講師派遣事業)、佐賀県や企業、JICAなどからの依頼で講演を行ってきました。

2014年の事業も変わらずのご支援をお願いします

2013年度も多くの方々の協力、支援をいただき活動を行ってきました。2014年度は中国、韓国、スリランカからの招聘事業もあります。これからももっと地元の方から愛され、必要とされる活動を目指していきます。今年度もよろしくお祈りします！



僕はサッカーで世界を平和にしたいんだ(30周年記念講演会)



シュートを打たなければ、ゴールは決まらない (30周年記念講演会)



約100名の方の参加がありました(30周年記念式典)



釜山韓日文化交流協会の朴理事長(新かちがらす)



佐賀で取り組む地域活動の発表(新かちがらす)

平成25年度 佐賀市中山間地元気再生事業報告

● 活動報告

2013年度の活動は、新規の事業よりも昨年度から継続した活動を行いました。活動への参加者、サポートしてくれる人が昨年度よりも増え、地球市民の会を知る方々や応援してくれる人の拡がりも出てきました。

● 夏休み子どもふるさとステイ2013

少子高齢化が進む集落でキャンプを実施！

2012年より佐賀市の富士町関屋集落で小学生を対象にした夏休みキャンプを実施してきました。2012年の活動からの拡がりもあり、2013年は三瀬中鶴集落も含め2ヶ所で実施しました。

期間は7月下旬～8月上旬で各集落それぞれ1週間ずつ行いました。

2012年よりも倍以上の171名の参加が佐賀県内・福岡市内からありました。

地元の方々の指導の下、参加した小学生は普段の生活では体験できない、自然のものを使つてのクラフト体験、料理作り、川遊びなどを行いました。

中山間地では、少子高齢化が進み、ここ最近では子どもの声があまり聞かなくなり、とても寂しいという高齢者の方も多かったです。このキャンプ実施後に「短い間であったけど子どもたちの声が集落に響いてすごく嬉しかったよ！」と言われている方もいました。参加した子どもの満足度も高く、初めて生で野菜を食べた！初めて川で遊んだ！など初めてづくしの数日間でした。また、多くの大学生や社会人の方のサポートもあり地球市民の会だけでなく、多くの方々と連携できた活動になりました。



サポーターと参加子ども(キャンプ)



初めてのピーマン生かじり(キャンプ)



ピーマン豊作でした！(キャンプ)



毎回多くの参加者と農作業(有明木綿)



収穫した木綿のドライフラワー(有明木綿)



味噌汁の振る舞い(ベジボーイズ)

● 有明木綿

限界集落を支える多くの有志

2年目の佐賀市富士町荳木集落で木綿栽培を行っている「有明木綿」。春先の種まきから秋の収穫まで、地元の方々や地元の支所、有志の方々と一緒に活動を行っています。毎回20名～50名の参加があり、新聞への掲載やラジオでのPR等も増えてきました。昨年は収穫したものをドライフラワーにしたり、種販売などを行いました。他にも佐賀大学生が荳木集落内で米や野菜を栽培しています。荳木集落は小さな集落ですが、多くの団体や個人で活動を行い連携しています。地元の方も外部の方々との交流によって意識が変わってきたと。交流が待ち遠しいと言われている方もいました。

● ベジボーイズ

地元の若者で造る新たな集落の形

佐賀市富士町合瀬集落の若者でつくるベジボーイズ。2013年で3年目になりました。大きなイベントなどは行っていないですが、高齢者に代わっての草刈り作業や地元のイベントに参加しての活動を行っています。地元の人が誇りをもって暮らしていくように地元の若者が発進力となっています！

● 大学生から創る日中韓の未来の形

中国から8名、韓国から10名の大学生が参加

日程: 2013年8月21日(水)～31日(土)

日本・中国・韓国は歴史的な問題から必ずしも関係は良好とは言えません。

領土問題からの反日デモなどによって、多くのイベントが中止・延期になり更なる悪化が懸念されていました。

しかし、このような状況の時にこそ、同じアジアの一員として、隣国の中国・韓国とより良い未来を構築することが必要であると思います。この一歩が地域だけでなく、世界平和につながるものと信じて交流事業を実施しました。

中国、韓国では多くの大学生が日本語を学んでいます。しかしながら、卒業後は日本語を使える企業へ就職する人たちは数%で、大半の学生は日本語と無縁の仕事に就いたり、実際に日本人との交流もしないまま卒業します。多くの学生が日本に行って、交流を望んでいました。しかし、日中韓の問題から最後まで募集には苦労しました。それでも来てくれた中国・韓国からの18名は参加者同士や関係者、ホストファミリーの方々と深い交流ができました。

内容は、佐賀の企業や佐賀大学訪問、日本文化体験、ホームステイや同世代の日本人大学生とのワークショップや料理づくりなど人と人の交流を通して相互理解を深める活動でした。



日中韓で料理作り



自分たちで何ができるか？ワークショップ



日中韓友好の乾杯！



お別れパーティー



ホームステイの様子

こういう状況だからこそ協力する！

という多くの方々のご協力により実現できました。中国・韓国からの参加者は予定よりも少なかったですが、多くの感動と友情の輪が生まれました。参加した大学生からのアンケートからは、相手国のイメージが変わったという内容が多かったです。日本、

佐賀が好きになり、また来たいと思う学生が増え、また、この事業を多くの人に紹介し、ここから友好を拡げていきたいと思ってもらえたことは大きな成果でした。心が繋がれば感動が生まれる！そう実感した交流事業でした。



(佐賀空港でのお別れの様子)



最後は感動のお別れ



多くの方々の支援で友情の輪ができました

平成25年度 ミャンマー事業報告

農業畜産業支援

循環型共生社会の自立発展(JICA草の根技術協力パートナー型)事業

2012年度に3ヶ年事業として始まった農民たちの共同集荷・出荷システムの構築事業。昨年はナウンカ地域とセレー地域にて、農民たちの組合もできました。販売に力を入れるとともに、村での循環型農業の普及活動(研修)も地道に実施しました。9つのホテルやレストランなど、販路も順調に開拓されており、ヤンゴンのアンテナショップオープンによって、流通や販売がより強化される見通しです。

(助成: 独立行政法人国際協力機構)

循環型農業研修

ナウンカセンター他で実施した循環型農業7日間研修は、7回実施、参加人数は111名。今までの研修は計73回の実施、参加累計人数は1,127名にのぼります。また、JAさがから各村での研修や農畜産業の振興をご支援いただいています。

ナウンカ長期研修

昨年に引き続き、農村青年9名を対象として、循環型農畜産業の研修を主体に、食品加工、キノコ栽培、機械整備、洋裁、会計などの研修を行ないました。循環型農業・畜産業の技術を普及することももちろんですが、農業からの収入がない時期に、副収入が得られるような技術を身につけることができるような科目も取り入れました。

開発支援

インレー湖水上生活者の飲料水・衛生環境の改善事業

ミャンマー有数の観光地インレー湖周辺では、インダー族を中心に30以上の少数民族が水上家屋にて水上生活を送り、昔から湖の水を飲料水、生活用水として使用してきました。しかし、近年、合成洗剤の使用など生活様式の変化、浮畑栽培で 사용되는化学肥料や農薬等による水質汚染が進み、その水は生活・飲料水に適しているとは言えなくなっています。住民の中で下痢や赤痢などの汚水摂取を原因とする病気が蔓延、子どもなど数名が死亡した例もあります。

昨年11月より、4村落郡約15,000人に安全な飲料水を給水するため、水タンクの設置や配水パイプの敷設を行っています。また住民による給水施設の維持管理委員会の組織や、地域住民に対する循環型農業研修、環境・保健衛生研修を実施し、今後住民自らインレー湖の水環境を守りながら継続的に衛生的な水にアクセスできる仕組みづくりを行っています。2014年7月終了予定です。

(外務省日本NGO連携無償資金協力)

環境保全

コンロン地域9村によるモデルコミュニティ薪炭林造成事業

ダヌ民族が住むコンロン地域にて住民による合計1万本の植林と、9村への給水施設の整備を行いました。引き続き植林をするために47,000本の育苗も住民主体で行っています。植林した木々の中には、将来材木として販売できるものもあり、地域の教育基金にあてられる予定です。

インレー湖地域における土砂流出を防止する持続可能な緑化システム構築事業

観光客が押し寄せるインレー湖周辺はホテルの建設ラッシュで更なる木の伐採、環境破壊が進んでいます。本事業では、住民と5千本の植林を行いました。また地域住民が今後も継続して植林を行えるしくみ作りとして、モリンガというオイルがとれる木を植え、実から搾油、販売し、植林基金をつくる予定です。

(国土緑化推進機構「緑の募金」)



農民の組合づくり(JICA)



TPA講師による講義



循環型農業研修



インレー湖の給水施設(タンク設置)



コンロン地域での植林



日本人専門家によるモリンガ講義

● 教育支援・人材育成

農村女性の生計向上のための食品加工・手工芸技術指導

タンボジ村の女性たちを集め、食品加工や手工芸の技術研修を行いました。農村の女性は、水汲みやまき拾いなど生産性の低い重労働が多い上、日雇いにいっても安い賃金しかもれません。しかし女性が手に職をつけ、副収入を得ることができる、こどもの教育にお金をかけるなど家族の福祉、生活にとってプラスになります。本事業では、20人の女性にお菓子づくり、ホテアオイのかご編み、ろうそく作りなどを教えました。今後は女性の組合をつくり販売にも力をいれ、生計向上に結び付けていきます。



タンボジ女性の編み物研修

学校建設・保育園建設

昨年は、2校の学校と1つの保育園を建設しました。

<カンカウン準中学校建設>

スタディツアーに参加した学生さんたちの発意で寄付を集め建設を目指した本事業。たくさんの方にご支援いただき、2年越しの夢が叶い、インレー湖上学校が完成しました。落成式には鹿児島大学の学生さんが参加し、子供たちと環境教育ワークショップなどを行いました。

(プロジェクトメンバーの皆さん、大阪コミュニティ財団、TPA東京、他)

<サウンウン小学校建設>

ここは、車では行けないパオ族の山上の村です。周囲に学校がないため、村は数年前、手作りで小学校を建設しましたが老朽化が進んでいました。この度長野白樺ライオンズクラブさんのご支援で、立派な小学校が出来上がりました。

(長野白樺ライオンズクラブ)



カンカウン準中学校落成式

<タウンピョー保育園建設>

最近まで内戦が続き、現在も外国人の立ち入りが制限されている地域にあるタウンピョー村。基礎教育の大切さを感じた村の有志たちが村にある倉庫で保育園を開きましたが、狭く、暗く、寒いという悪環境を改善したいという要望がありました。この度日本ミャンマー豊友会(JAMAHA)のご支援で園舎が完成し、学習環境の改善を図ることが出来ました。

(日本ミャンマー豊友会・JAMAHA)



サウンウン小学校建設

● 交流

ミャンマーと佐賀の青少年育成交流事業

10月に農村の青年やリーダー6名を日本に迎え研修を行いました。ミャンマーでの取り組みに活かそうと、有機農業の六次産業化の取り組みや、日本の先進的な流通のシステムなど学びました。富士町や鹿島などで、農業に携わる人たちと意見交換したり、佐賀大学、本庄小学校、ひなた村自然塾を訪問し青少年と交流しました。たくさんの方と出会い、佐賀を満喫し大好きになって帰って行きました。



ミャンマー招聘研修(ホームステイ)

スタディツアー・視察ツアー

夏は鹿児島大学、佐賀大学のツアー、3月は大会主催のスタディツアーを行いました。また、JAさが、長野白樺ライオンズ、日本ミャンマー豊友会などの支援者のツアーや、かごみん、女性自立支援事業専門家、モリンガ専門家、コーヒー専門家の視察ツアーも受け入れ、昨年度もたくさんのミャンマーファン・地球市民が誕生しました。



2014.3月TPAツアー

● プロジェクトマネージャー・柴田より

2013年は『循環型共生社会の創造』という目的の下、活動開始し10年の節目の年でした。循環型農業の分野では農作物のマーケット構築事業の2年目、販売という初めてのことに戸惑いながらも、徐々にマーケットを広げることができ、今後も普及+販売で農村の発展に力を入れていきたいです。

また、ミャンマー事務所は日本人3人体制で頑張りました。9月から派遣された元タンボジセンターインターンの松原は、インターンの経験を活かしミャンマー事業により深く関わりたいと、一度帰国した後スタッフとして戻って来てくれました。彼の「インターン時代、お世話になったミャンマーの方に少しでも恩返しをしたい」という言葉を聞いて、私たちが目標とする「循環型共生社会の創造」の原点だと思いました。初心を忘れず、2014年度も3人で頑張りたいと思います。ご支援よろしくお願いいたします。

平成25年度 奨学金事業報告

「最低限の教育支援」から、「貧困の連鎖から抜け出す為の教育支援」へ

●タイ 新・地球市民奨学金が開始

高校生～大学生を支援する奨学金の開始

2013年より、より貧しい家庭の子どもたちが高等教育へアクセスする為の「新・地球市民奨学金」が始まりました。2014年からは大学生への支給が始まります。両親がいない、家族が病気、農業をする土地がなく収入がない…。そんな中でも、「学んで、家族のために力を付けたい」「夢を叶えたい」と願う子達を支援します。

ボーゲウ校の奨学金が終了

1995年より中・高校生の奨学金を実施してきたカラシン県ボーゲウ校にて、最後の奨学生が卒業しました。同校では2012年に実施した精米機プロジェクトにて、利用料や学校で育てたお米販売により、学校経営の安定と子どもたちへの奨学金をはじめています。子どもたちが運営し、農業技術を学ぶ場にもなっています。

これからの農村・ミャンマー社会を担う若者を育成する

●ミャンマー・タンボジ奨学金が開始

ミャンマーで運営しているタンボジ青少年育成センターにて奨学金制度が始まりました。ミャンマーの農村は9割が農民。子どもたちは貧しさ故に、優秀でありながら高校へ行くことが出来ない状況です。そんな子たちが寮に入り、学校に通いながら有機農業を学んでいます。子どもたちの学ぶ環境を支えていきます。

将来、日本とスリランカの架け橋となる人材を

●スリランカ・シショダヤ奨学金が4年間に

シショダヤ奨学金のご支援が、移行期間を経てすべて4年間となりました。より、子どもたちにとっていい形を模索し、あたたかい交流が長く続くことを目指します。

佐賀から輪を広げよう！

●さとおや交流会を開催しました

6月・2月に佐賀でさとおや交流会を実施。留学生や一般の参加者を含め、32名の方にご参加いただき、カレーを食べて楽しくお話したり、現地の報告をしました。

●2013年度 奨学金支給状況

奨学金名	支給先	支給学生数	これまでの総数
タイ・地球市民奨学金 (中～高校生)	ウドンタニ県 クーキャオウィッタヤ校 カラシン県 ボーゲウヤウミテープパッタナ校	128名	1991年～2013年で 3451名
タイ・新地球市民奨学金 (高校生～大学生)	ウドンタニ県 ノンハーン校 ※2014年より大学生へ支給予定	10名	※2013年より奨学金制度が 開始しました
ミャンマー・タンボジ奨学金	タンボジ青少年育成センター	13名	※2013年より奨学金制度が 開始しました
スリランカ・シショダヤ奨学金	ゴール市・サンガミッタ女子校	25名	1998年～2013年で 105名となりました



タイ・新・地球市民奨学金の生徒と



タイ・ボーゲウ校の最後の奨学生たち



ミャンマー・タンボジ寮生の子どもたち



2月のさとおや交流会にてタイツアー報告をしました

2013年度、164名のさとおやさんにご支援を頂きました。ありがとうございました！

平成25年度 タイ・スリランカ事業報告

子どもたちへ笑顔を届けるチャリティショップ

● ぱーん・たわんが4年目を迎えました

たくさんのご支援を頂き、ぱーん・たわんもアジアの子どもたちの為のチャリティショップとして佐賀で活動が続けています。

今年は、佐賀市内にあるわいわい!コンテナにも1週間出店。地域の皆さまに活動を知っていただく機会にもなりました。今後も、子どもたちへの教育支援のために、ボランティアのみなさまとこつこつと活動が続けていきたいと思います。

《2013年4月～2014年3月》

寄付点数:1300点以上

寄付者数:49名+1企業

ボランティア参加者:18名

売上:194,997円

《ご協力いただいている企業様》

(有)ニューポーン新古賀 さま

小松商店金属部 さま

株式会社 損害保険ジャパン

佐賀コールセンター さま



ぱーん・たわん わいわい!コンテナに出店



タイ ジョムシー小学校にて生徒・お母さんたちと

タイ・教育環境改善プロジェクト

● 図書館づくりプロジェクトを継続実施しました

2012年より、タイのカラシン県・ジョムシー小学校で実施している図書館づくりプロジェクト。本年は、「図書室の活用が続くように」「地域のお母さんたちにも、本の魅力を伝えたい」とワークショップと本の補充を実施しました。

現地視察ツアーも同時開催し、日本人も交えてワークショップ。お母さんたちも20名参加し、絵本の読み聞かせや、おもちゃをつくったり等図書館と一緒に楽しみました。子どもたちも図書館を大切に使用しており、本のお手入れ方法を学んだり、新しい図書に番号を振って貸し出しが出来るようにしたり…。子どもたちの手で運営できる図書館になっています。【協力:タイ公益財団法人マレット・ファン】

《本事業は、西日本国際財団より助成をいただきました》



タイ ジョムシー小学校で本を楽しむ生徒たち

タイの奨学金事業を支える仲間の輪を広げよう

● ボランティアグループ・TPAタイの活動

クーキャオ校で16年間、当会奨学金担当として活動してきたスラポン先生。今回新しい奨学金を共に立ち上げ、ボランティアグループ・TPAタイをつくりました。現在土日や放課後を利用して家庭訪問を実施、タイ語と英語の翻訳など、周りの先生方と協力して子どもたちの学びを支えています。



TPAタイ スラポン先生と協力頂いている先生方

スリランカの奨学生が、勉学でがんばっています

● 奨学生の1人が、全国1位の成績を収めました

当会奨学生の1人で、2012年に交流事業で来日したマドウシャニ。彼女が、スリランカで実施されている全国統一試験(O/L試験)で、最優秀の成績を残し、大統領より表彰を受けました。2014年9月に交流事業で奨学生の代表が佐賀を訪れる予定です。皆さま是非ご参加ください！



スリランカ・右側が奨学生のマドウシャニ

2013年もさとおやさん・ボランティアさん皆さまの真心に支えられ、活動が続けることが出来ました。
2014年も、子どもたちへ皆さまの真心を届ける活動が続けて参ります！

被災地母子招聘事業

被災地・福島・宮城県からお母さんと子どもたちを佐賀に招待しました。

- 主 催: ハッピーストック
- 共 催: i-くさの根プロジェクト・砂子啓子代表(仙台市在住)
震災支援グループ・いちごの会代表
岡部つい子さん(宮城野区在住・民生委員)
だいでんいっしょプロジェクト(佐賀から元気を送ろう
キャンペーン)
- 協力団体: 公益財団法人佐賀未来創造基金(乾杯キャンペーン)
天吹酒造(絆伝心プロジェクト)
佐賀バルーン大会組織委員会
(11月3日早朝バルーン係留体験)
- 招聘家族: 4家族の母子・13名(女性4名・子ども9名)
(仙台市宮城野区から3家族・福島県伊達市から1家族)
- 実施日程: 平成25年11月2日(土曜日)～11月4日(月曜日)

2011年3月の東日本大震災の被災地には、今も多くのストレスを抱えるお母さんや子ども達があります。そんな母子を佐賀に招待し、佐賀バルーンフェスタに参加してバルーン係留体験や自然に触れたり、一般の家庭にホームステイして草の根の交流を行ったりすることで、被災者の母子の心のケアを行うことを目的とした事業です。参加した家族からは、「子どもたちに笑顔が戻った」と嬉しい報告が届いています。また、招聘した方々による報告会を行って生の被災地の声を聴くことにより、震災を忘れずに佐賀から被災地に何ができるのかを皆さんと考える機会を設けました。



参加者集合写真(ボランティアと)
吉野ヶ里公園 平成25年11月2日



天吹酒造(みやき町)を表敬訪問

復興酒・絆伝心プロジェクト

■宮城県の酒米で作った日本酒「絆伝心」は、みやき町にある300年以上続く酒蔵「天吹酒造」が製造。東北を元気にすることを目的とし、日本酒の売り上げはハッピーストックの招聘事業に寄付していただいています。今年で3年目に入る被災地支援事業です。



支援活動の報告会と被災地からのありがとうコンサートを開催

- 主催: ハッピーストック
- 共催: i-くさの根プロジェクト
- 日時: 11月3日 ■場所: アバンセホール
- 参加者: 約150名(西日本新聞発表)
東北から参加したボランティアスタッフ5名
ボランティアスタッフ 9名

11月3日の報告会では、被災者により、ハッピーストックと協働で行った被災地支援事業に関する報告と東北の現状を聞き、今なお震災が終息していない事実を改めて認識しました。

また、招聘事業に賛同して東北のアーティスト・イケメンズが母子やボランティアスタッフと来佐。被災地報告会の後のコンサートで歌を披露し、佐賀の人々に2年半の支援に対する感謝の気持ちを伝えてくれました。

東日本大震災から約3年が過ぎました。しかし、あるべき日常を奪われた被災地では、幼い子どもを育てる母親と子ども達にとって、今も大きな課題があると言われています。そんな彼女たちの心を支えるために、そして、子ども達の笑顔が復興への第一歩であることを信じて、今後も支援活動を行っていきます。



報告会とコンサートの後に参加者全員で合唱



報告会・コンサートの参加者集合写真

決算報告書

平成 25 年（2013 年）4 月 1 日～平成 26 年（2014 年）3 月 31 日

目 次

◆財務分析と課題	-P13
◆平成 25 年(2013 年)度貸借対照表	-P14
◆平成 25 年(2013 年)度活動計算書	-P15
◆平成 25 年(2013 年)度財務諸表の注記 1	-P16
◆平成 25 年(2013 年)度財務諸表の注記 2	-P17
◆平成 25 年(2013 年)度事業別損益計算書	-P18
◆平成 25 年(2013 年)度財産目録	-P19
◆平成 25 年(2013 年)度対比貸借対照表	-P20
◆平成 25 年(2013 年)度対比収支計算書	-P21
◆5 期連続収支計算表	-P22
◆2013 年度ミャンマードル会計 貸借対照表、収支計算書	-P23
◆2013 年度ミャンマーチャット会計 貸借対照表、収支計算書	-P24
◆2013 年度ミャンマードル・チャット会計財産目録	-P25
◆監査報告	-P26

特定非営利活動法人 地球市民の会
佐賀県佐賀市高木町 3-10

2012年4月に施行された「改正 NPO 法」に対応した「NPO 法人会計基準」に従った財務諸表の構成にしています。多くの方に財務内容や推移をご理解いただくために、補助資料も多数用意し、わかりやすくなっていると思います。しかし、ページ数が多くなっていますので、若干の説明が必要かもしれません。事務局まで遠慮なくお問い合わせください。

～地球市民の会の健康状態（貸借対照表から）～

● チャレンジしながら、何とかぎりぎり耐える。健気に良くやっています。

ミャンマーにて2年連続で実施する外務省のNGO連携無償資金による大型プロジェクトが期末を挟んで実施されましたので、手許の流動資産が大きくなっています。ほとんど使途が決まっていますので、実質自由になる現預金は約 300 万円で、約 1.7 か月分のランニングコストに相当します。相変わらずの、手許資金の脆弱性を示しています。大きな負債科目があるわけではないので、月々のキャッシュフローに注意をしながら、運営を行いました。

～地球市民の会の昨年の通信簿（活動計算書から）～

● 初の一億円越えの決算、新しい事業にも挑戦し、将来の可能性を広げることができています。

地球市民の会としては設立 30 年で初めて、1 億円を超える収支を達成しました。ミャンマー民主化のなかで、ミャンマーに対する投資の増大で地球市民の会でも大型案件が可能になったのが要因です。18 ページの平成 25 年度事業別損益計算書でご確認ください。

新規事業なども果敢に挑戦しました。奨学金事業が従来のタイ、スリランカに加えてミャンマーでのタンボジ奨学金が始まることで、寄付収入が増えました。従来のノウハウを新しい国に広げるという発展型となりました。また、タイの事業の中で「貧困の連鎖からの脱却」というテーマを新たに設定し、新しい奨学金提供者の募集が始まりました。ミャンマーにおいても女性の収入向上という「ジェンダー」を意識した助成金提案で新しい資金調達に成功しています。国内事業として2年目の「ふるさとステイ」は提供プログラムを新しい形に変え、参加者が前年度の2倍に増えています。

21 ページの予算・決算の対比表で国内事業収入が大きく減額になっています。日中韓の大学生交流事業が 100 名参加で計画したにもかかわらず、18 名の参加と見込みを大きく下回ったことと、オリーブ事業が次年度に持ち越されたことが理由です。また、ラオス事業は事業立案を事業実施ベースまで持ち上げられず、資金調達も上手くいきませんでしたので、実施されませんでした。

コンピュータの XP 問題に対処すべく年度末に事務局支援の寄付のお願いさせていただき、目標の 30 万円を超えるご寄付を頂きました。事業だけではなく組織も、会員さんに支えていただいております。ありがとうございました。

～収入バランスのチェック～

収入比率と推移は以下の通りです。

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	理想①	理想②
会費・寄付収入	29%	20%	21%	29%	12%	40%	40%
委託金・助成金収入	65%	71%	71%	57%	81%	40%	30%
自主事業収入	5%	9%	8%	14%	7%	20%	30%
総収入金額	45, 185, 158	65, 256, 983	91, 012, 431	53, 862, 736	110, 352, 912	1 億円	1 億円

貸借対照表

2014年 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,048,530		
未収金	442,346		
寄付物品	1,628,000		
ミャンマー事業未使用資金	23,426,086		
流動資産合計		45,544,962	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			45,544,962
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,069,143		
未払費用	227,159		
前受金	42,000		
預り金	342,630		
流動負債合計		1,680,932	
2. 固定負債			
タイ・クーキャオ中学奨学金前受金	253,000		
タイ・クーキャオ高校奨学金前受金	48,000		
スリランカ・シショダヤ奨学金前受金	192,000		
ミャンマー・タンボジ寮生奨学金前受金	144,000		
固定負債合計		637,000	
負債合計			2,317,932
III 正味財産の部			
1. 正味財産			
前期繰越正味財産		13,460,281	
当期正味財産増加額		29,766,749	
正味財産合計			43,227,030
負債及び正味財産合計			45,544,962

活 動 計 算 書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	2,346,480		
賛助会員受取会費	846,000	3,192,480	
2. 受取寄付金			
受取寄付金 本部	1,608,543		
受取寄付金 事業	14,733,037	16,341,580	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	6,274,268		
受取公的助成金	63,570,343		
受取公的委託金	19,339,503	89,184,114	
4. 事業収益			
国内事業収益	6,669,662		
奨学金事業収益	363,059		
ミャンマー事業収益	564,738		
東日本大震災収入	51,500	7,648,959	
5. その他収益	779		
受取利息	-1,926		
雑収益	2,705	779	
経常収益計			116,367,912
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	12,740,733		
法定福利費	1,359,273		
福利厚生費	34,571	14,134,577	
(2) その他経費			
直接事業費	86,869,559		
間接事業費	2,626,588	89,496,147	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	5,023,600		
法廷福利費	716,454		
福利厚生費	12,855	5,752,909	
(2) その他経費	1,761,309	1,761,309	111,144,942
経常収支差額			5,222,970
ミャンマー未使用資金戻入益			23,426,086
寄付物品売却損			254,320
ミャンマー未送金資金繰入損			-1,453,013
法人税、住民税及び事業税			81,000
当期正味財産増減額			29,766,749
前期繰越正味財産額			13,460,281
次期繰越正味財産額			43,227,030

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は現有しておりませんので減価償却はなされておられません。所有した際は法人税法の規定に基づいて定率法で償却をします。無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をします。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(3) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(4) 消費税等の会計処理

25年度より、税込経理方式によって行っています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は添付別紙資料の通りです。

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

施設の提供等の物的サービスの受入の状況は以下の通りです。

内 容	金 額	算 定 根 拠
東北支援ジャガイモ輸送代	3,780	(株)トワード様より 段ボール箱3箱 6/19
支援酒米輸送代	78,750	(株)トワード様より 岩手県⇒佐賀県みやき町1車分 11/12

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位：円)

内 容	金 額	算 定 根 拠
事務作業補佐 延 288 名 合計 1136 時間	754,304	単価は佐賀県の最低賃金（664 円）によっています。 事務補佐の内訳は当会事務局に別途設置されているボランティアサポート台帳にあります。
キャンプ事業補佐 延 65 名 合計 504 時間	334,656	
イベント補佐 延 71 名 合計 300 時間	199,200	
TOMODACHI100 補佐 延 72 名 合計 288 時間	191,232	
合 計	1,479,392	

5. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は 43,227,030 円ですが、そのうち 39,521,521 円は下記事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は 3,705,509 円です。

(単位：円)

内 容	期末残高	備 考
タンボジ女性自立支援事業	471,000	
環境保全（植林）事業	1,189,245	
循環型共生社会の自立発展	466,867	
インレー湖給水事業	11,023,463	
ミャンマー未使用資金	23,426,086	ミャンマーに送金済の事業資金現地有り高
タイ教育基金	545,857	ばーん・たわん売上・タイ教育基金寄付
奨学金	1,288,000	タイ・ミャンマー・スリランカ未送金分（前受金含む）
国内事業オリーブプロジェクト	500,000	イオン環境財団
ハッピーストックプロジェクト	611,003	
	39,521,521	

6. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減はありません。

7. 借入金の増減内訳

借入金の増減はありません。

8. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引はありません。

特定非営利活動法人 地球市民の会
平成25年度事業別損益計算書

単位:円

	国内事業	ミャンマー事業	奨学金事業	東日本	本部管理部門	計
I 経常収益						
1. 会費収入					3,192,480	3,192,480
2. 寄付収入	110,100	4,765,358	9,287,843	569,736	1,608,543	16,341,580
3. 助成金収入	1,100,000	68,436,343	200,000	108,268		69,844,611
4. 委託金収入	2,090,696	17,248,807				19,339,503
5. 事業収入	6,669,662	564,738	363,059	51,500		7,648,959
6. その他収入					779	779
経常収益計	9,970,458	91,015,246	9,850,902	729,504	4,801,802	116,367,912
II 経常費用						
1. 直接事業費	5,967,662	71,029,968	7,743,343	2,128,586		86,869,559
2. 人件費	4,910,233	7,190,074	2,034,270		5,752,909	19,887,486
給与手当	4,238,500	6,735,833	1,766,400		5,023,600	17,764,333
法定福利費	656,962	444,041	258,270		716,454	2,075,727
福利厚生費	14,771	10,200	9,600		12,855	47,426
3. その他の経費	1,189,549	829,746	555,570	51,723	1,761,309	4,387,897
旅費交通費		171,620			18,613	190,233
通信運搬費	325,361	166,960	142,302		386,147	1,020,770
消耗品費	139,269	78,825	60,930		165,383	444,407
印刷出版費	139,430	69,715	61,001	268	165,574	435,988
広告宣伝費	127,680	63,840	55,860		151,620	399,000
水道光熱費	72,000	36,000	31,500		85,500	225,000
賃借料	91,029	45,515	39,825		108,097	284,466
保険料				5,800	46,440	52,240
租税公課		1,050		44,000	48,700	93,750
負担金支出	4,600					4,600
地代・家賃	288,000	144,000	126,000		342,000	900,000
支払手数料	2,180	52,221	38,152	1,655	68,199	162,407
会議費					46,982	46,982
新聞図書費					6,302	6,302
諸会費					97,000	97,000
リース料					6,703	6,703
雑費					18,049	18,049
経常支出計	12,067,444	79,049,788	10,333,183	2,180,309	7,514,218	111,144,942
経常収支差額	-2,096,986	11,965,458	-482,281	-1,450,805	-2,712,416	5,222,970

財 産 目 録

特定非営利活動法人地球市民の会

2014年 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金 預 金	20,048,530	未 払 金	1,069,143
現金 現金手許有高	80,116	3月分給与	210,000
普 通 預 金	19,968,414	PC購入費	300,525
佐賀銀行本店営業部 1506171	3,552,490	ESD ワーキンググループ 謝金	280,000
佐賀銀行本店営業部 2675887	76	謝金①	55,000
佐賀銀行本店営業部 3018910	652,548	謝金②	80,000
佐賀銀行本店営業部 3029237	36	謝金③	80,000
佐賀銀行本店営業部 3046432	466,867	絆伝心ラベル印刷代	31,500
佐賀銀行本店営業部 3078142	13,798,982	絆伝心ラベル和紙代	27,720
三井住友銀行 0362355	4,758	絆伝心プリンターインク代	3,888
郵便貯金	511,221	郵貯ハッピーストック口座残高証明	510
郵便振替	370,433	未 払 費 用	227,159
郵便貯金ハッピーストック	611,003	社会保険料H26年3月分	205,763
未 収 金	442,346	レンタルサーバー代 3月分	3,675
ミャンマーツアー代 ①	42,810	電話代 3月分	9,555
ミャンマーツアー代 ②	49,928	システム料 3月分	4,266
印刷機印刷代H25年度分 和スポーツさが	30,532	カラーコピー代 1～3月分	3,900
印刷機印刷代H25年度分 あたげ会	14,668	前 受 金	42,000
印刷機印刷代H25年度分 古賀英語道場	4,408	H26年度分 正会員費	39,000
佐賀市委託金	300,000	H26年度分 購読会費	3,000
寄付物品 ライフジャケット 148着@¥11,000	1,628,000	預 り 金	342,630
ミャンマー事業未使用資金	23,426,086	理事慶弔費	241,506
流動資産合計	45,544,962	社会保険料	12,494
資産合計	45,544,962	源泉所得税	53,830
		市県民税	34,800
		流動負債合計	1,680,932
		2. 固定負債	
		タイ・クーキャオ中学奨学金前受金	253,000
		H26年度分	157,000
		H27年度分	96,000
		タイ・クーキャオ高校奨学金前受金	48,000
		H26年度分	24,000
		H27年度分	24,000
		スリランカ・シシヨダヤ奨学金前受金	192,000
		H26年度分	68,000
		H27年度分	52,000
		H28年度分	48,000
		H29年度分	24,000
		ミャンマー・タンボジ寮生奨学金前受金	144,000
		H26年度分	144,000
		固定負債合計	637,000
		負債合計	2,317,932
		正味財産	43,227,030
		負債及び正味財産合計	45,544,962

特定非営利活動法人地球市民の会

貸借対照表

2014年3月31日現在

単位:円

資産の部			負債の部		
科目	前期残高	当期残高	科目	前期残高	当期残高
現金	116,978	80,116	未払金	861,371	1,069,143
普通預金	13,723,314	18,475,757	未払費用		227,159
郵便貯金	144,318	1,122,224	前受金	48,000	42,000
郵便振替	762,080	370,433	預り金	321,703	342,630
現金預金合計	14,746,690	20,048,530	ミャンマー未送金資金	1,453,013	
寄付物品	1,914,000	1,628,000	流動負債合計	2,684,087	1,680,932
前払金	23,200		ク-キャオ中前受金	414,000	253,000
未収金	47,478	442,346	ク-キャオ高前受金	18,000	48,000
ミャンマー未使用資金	0	23,426,086	シヨダヤ奨学金前受金	155,000	192,000
流動資産合計	16,731,368	45,544,962	タホソ奨学金前受金	0	144,000
固定資産合計	0	0	固定負債合計	3,271,087	637,000
			負債合計	1,818,074	2,317,932
			正味財産	13,460,281	43,227,030
資産合計	16,731,368	45,544,962	負債・正味財産	16,731,368	45,544,962

特定非営利活動法人地球市民の会
平成25年(2013年)度 予算決算対比書
 自 平成25年4月1日 至平成26年3月31日

【経常収入の部】	24年度決算	25年度予算	25年度決算	【経常支出の部】	24年度決算	25年度予算	25年度決算
本部収入	3,198,000	8,000,000	4,801,802	国内管理費	7,517,449	7,600,000	7,514,218
会費収入	3,198,000	4,000,000	3,192,480	人件費	5,628,323	5,600,000	5,752,909
寄附金収入	0	4,000,000	1,608,543	その他管理費	1,889,126	2,000,000	1,761,309
その他収入			779	収支計	-4,319,449	400,000	-2,712,416
国内事業収入	7,384,327	27,100,000	9,970,458	国内事業費	8,968,639	26,800,000	12,067,444
寄附金収入	327,337	1,000,000	110,100	直接事業費	2,968,651	17,800,000	5,967,662
補助金・助成金等収入	620,192	2,000,000	1,100,000	人件費	5,094,748	7,500,000	4,910,233
委託金収入	1,482,620	10,500,000	2,090,696	その他管理費	905,240	1,500,000	1,189,549
事業収入	4,914,368	13,600,000	6,669,662				
雑収入	39,810			収支計	-1,584,312	300,000	-2,096,986
奨学金事業収入	4,670,715	5,504,000	9,850,902	奨学金事業費	5,899,893	6,835,500	10,333,183
寄付金収入	2,928,640	2,004,000	9,287,843	直接事業費	2,985,910	3,835,500	7,743,343
助成金収入	800,000	500,000	200,000	人件費	2,455,067	2,500,000	2,034,270
委託金収入	0	0	0	その他管理費	458,916	500,000	555,570
事業収入	942,075	3,000,000	363,059	収支計	-1,229,178	-1,331,500	-482,281
ミャンマー事業収入	27,613,741	112,242,000	91,015,246	ミャンマー事業費	30,824,961	116,830,000	79,049,788
寄付金収入	3,369,450	4,560,000	4,765,358	直接事業費	23,188,095	109,130,000	71,029,968
助成金収入	7,356,472	89,232,000	68,436,343	人件費	6,983,132	7,000,000	7,190,074
委託金収入	15,158,255	17,250,000	17,248,807	その他管理費	653,734	700,000	829,746
事業収入	1,729,000	1,200,000	564,738				
雑収入	564			収支計	-3,211,220	-4,588,000	11,965,458
ラオス事業収入		2,000,000	0	ラオス事業収入		2,000,000	0
寄付金収入		1,000,000	0	直接事業費		1,500,000	0
助成金収入		1,000,000	0	人件費		300,000	0
事業収入		0	0	その他管理費		200,000	0
				収支計		0	0
東日本大震災支援事業収入	7,206,765	100,000	729,504	東日本大震災支援事業費	6,336,832	2,800,000	2,180,309
寄付金収入	2,206,150	100,000	569,736	直接事業費	3,397,055	2,100,000	2,128,586
助成金収入	5,000,000	0	108,268	人件費	2,639,267	420,000	0
雑収入	615	0	0	その他管理費	300,510	280,000	51,723
事業収入	0	0	51,500	収支計	869,933	-2,700,000	-1,450,805
経常収入合計	53,901,863	154,946,000	116,367,912	経常支出合計	59,547,774	162,865,500	111,144,942
				当期経常収支差額	-5,645,911	-7,919,500	5,222,970
				繰入金収入	7,749,846	0	0
				ミャンマー未使用資金戻入益	0	0	23,426,086
				寄付物品売却損	197,360	0	254,320
				ミャンマー未送金資金繰入損	0	-1,453,013	-1,453,013
				法人税、住民税及び事業税	0	81,000	81,000
				当期正味財産増減額	1,906,575	-6,547,487	29,766,749
				前期繰越正味財産額	11,553,706	13,460,281	13,460,281
				次期繰越正味財産額	13,460,281	6,912,794	43,227,030

5 期 連 続 損 益 比 較 表

事業	項目	H21/4～H22/3 21(2009)年度 第8期	H22/4～H23/3 22(2010)年度 第9期	H23/4～H24/3 23(2011)年度 第10期	H24/4～H25/3 24(2012)年度 第11期	H25/4～H26/3 25(2013)年度 第12期
管理部門	会費収入				3,198,000	3,192,480
	寄付金収入				4,155,652	1,608,543
	雑収入				39,810	779
	【収 入 計】	0	0	0	7,393,462	4,801,802
	人件費				5,628,323	5,752,909
	その他管理費				1,889,126	1,761,309
	【支 出 計】	0	0	0	7,517,449	7,514,218
	【収 支 差 額】	0	0	0	-123,987	-2,712,416
国内事業	会費収入	4,860,800	3,802,500	3,389,000		
	寄付金収入	326,420	611,199	281,425		110,100
	補助・助成金収入	6,044,958	1,710,000	-646,737		1,100,000
	委託金収入	3,189,000	5,025,000	6,410,000	2,102,812	2,090,696
	事業収入	1,507,595	958,502	4,798,127	4,914,368	6,669,662
	雑収入	253,569	6,274	4,179		
	【収 入 計】	16,182,342	12,113,475	14,235,994	7,017,180	9,970,458
	国内事業	4,653,871	1,500,407	2,848,469	2,968,651	5,967,662
	人件費	8,066,383	9,754,789	10,460,428	5,094,748	4,910,233
	その他管理費	2,297,037	3,270,729	2,741,435	905,240	1,189,549
	【支 出 計】	15,017,291	14,525,925	16,050,332	8,968,639	12,067,444
	【収 支 差 額】	1,165,051	-2,412,450	-1,814,338	-1,951,459	-2,096,986
奨学金事業	寄付金収入	26,351	680,304	276,430	2,928,640	9,287,843
	補助・助成金収入		400,000	390,000	800,000	200,000
	事業収入	4,669,800	5,671,615	4,401,270	942,075	363,059
	【収 入 計】	4,696,151	6,751,919	5,067,700	4,670,715	9,850,902
	奨学金事業費	2,415,218	4,700,838	2,638,980	2,985,910	7,743,343
	人件費	2,243,449	1,960,810	2,062,620	2,455,067	2,034,270
	その他の管理費		313,795	409,580	458,916	555,570
	【支 出 計】	4,658,667	6,975,443	5,111,180	5,899,893	10,333,183
	【収 支 差 額】	37,484	-223,524	-43,480	-1,229,178	-482,281
ミャンマー事業	寄付金収入	3,074,545	3,892,324	3,417,828	3,211,007	4,765,358
	補助・助成金収入	20,336,080	38,818,836	51,972,237	22,673,170	68,436,343
	委託事業					17248807
	事業収入	896,040	2,623,140	1,389,390	1,729,000	564,738
	雑収入				564	
	ミャンマー事業費戻入益					
	【収 入 計】	24,306,665	45,334,300	56,779,455	27,613,741	91,015,246
	ミャンマー事業支出	21,543,269	36,914,456	41,153,620	20,584,200	71,029,968
	人件費	4,762,128	5,226,919	6,104,869	6,983,132	7,190,074
	その他の管理費	1,849,509	999,070	604,598	653,734	829,746
	ミャンマー事業費繰入損	-4,856,733	-2,642,590	4,884,522	2,603,895	
	ミャンマー事業資金繰入損	1,635,461				
	【支 出 計】	24,933,634	40,497,855	52,747,609	30,824,961	79,049,788
	【収 支 差 額】	-626,969	4,836,445	4,031,846	-3,211,220	11,965,458
韓国事業	自主事業収入	0	342,682	210,643	0	0
	助成金収入	0	714,607	1,768,094	0	0
	【収 入 計】	0	1,057,289	1,978,737	0	0
	事業支出	0	678,312	1,052,504	0	0
	【支 出 計】	0	678,312	1,052,504	0	0
	【収 支 差 額】	0	378,977	926,233	0	0
東日本大震災支援	寄付金収入			5,262,100	2,206,150	569,736
	補助・助成金収入			7,688,140	5,000,000	108,268
	事業収入			305	615	51,500
	【収 入 計】	0	0	12,950,545	7,206,765	729,504
	直接事業費	0	0	8,957,789	3,397,055	2,128,586
	人件費			1,801,982	2,639,267	0
	その他の管理費	0	0	404,126	300,510	51,723
	【支 出 計】	0	0	11,163,897	6,336,832	2,180,309
	【収 支 差 額】	0	0	1,786,648	869,933	-1,450,805
	経常収入合計	45,185,158	65,256,983	91,012,431	53,901,863	116,367,912
	経常支出合計	44,609,592	62,677,535	86,125,522	59,547,774	111,144,942
	経常収支差額	575,566	2,579,448	4,886,909	-5,645,911	5,222,970
	当期計上増減額	0	0	0	7,552,486	24,543,779
	繰越収支差額	3,511,783	4,087,349	6,666,797	11,553,706	13,460,281
	次期繰越収支差額	4,087,349	6,666,797	11,553,706	13,460,281	43,227,030

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)貸借対照表
 2014年3月31日現在

単位:USドル

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現 金	12,373	43,587	前 受 金	5,725	9,029
銀 行 預 金	6,818	193,177	預 り 金	1,270	1,270
現金預金合計	19,191	236,764	仮 受 金	13,296	227,765
立 替 金	1,100	1,300	流動負債合計	20,291	238,064
流動資産合計	20,291	238,064	固定負債合計	0	0
固定資産合計	0		負債合計	20,291	238,064
			正味財産	0	0
資産合計	20,291	238,064	負債・正味財産	20,291	238,064

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)収支計算書
 自2013年4月1日 至2014年3月31日

単位:USドル

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本 部 勘 定 収 入	53,459	事 業 費	51,663
インレー湖給水事業	17,739	インレー湖給水事業	17,739
タンボジ女性自立支援	474	タンボジ女性自立支援	474
その他の事業	33,450	JICA農業組合づくり	33,340
管 理 費	1,796	その他の事業	110
雑 収 入	0	管 理 費	1,796
		給 料 手 当	1,588
		福 利 厚 生 費	42
		旅 費 交 通 費	103
		通 信 運 搬 費	48
		雑 費	15
経常収入合計	53,459	経常支出合計	53,459
		経常収支差額	0
		繰越収 支 差額	0
		次期繰越収支差額	0

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット)貸借対照表
2014年3月31日現在

単位:チャット

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現 金	2,065,598	5,092,885	預 り 金	1,175,350	1,245,350
普 通 預 金	885,475	719,027	仮 受 金	2,057,600	2,057,600
現金預金合計	2,951,073	5,811,912	小規模銀行基金	360,000	360,000
立 替 金	5,068,200	8,500	流動負債合計	3,592,950	3,662,950
短期貸付金	0	300,000	固定負債合計	0	0
仮 払 金	2,860,000	5,415,000	負債合計	3,592,950	3,662,950
流動資産合計	10,879,273	11,936,662	正味財産	41,581,823	42,569,212
保 証 金	430,500	430,500			
長期貸付金	33,865,000	33,865,000			
固定資産合計	34,295,500	34,295,500			
資産合計	45,174,773	46,232,162	負債・正味財産	45,174,773	46,232,162

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット)収支計算書
自2013年4月1日 至2014年3月31日

単位:チャット

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本部勘定収入	558,562,720	事 業 費	557,811,665
タンボジセンター	16,567,315	タンボジセンター	16,567,315
ナウンカセンター	10,377,300	ナウンカセンター	10,377,300
インレー湖給水事業	403,328,760	インレー湖給水事業	403,328,760
タンボジ女性自立支援	4,501,380	タンボジ女性自立支援	4,501,380
御 厨 基 金	45,766	御 厨 基 金	45,900
緑 の 募 金	2,645,826	緑 の 募 金	2,646,710
その他の事業	47,834,100	その他の事業	47,834,300
JAMAHA	7,583,600	JAMAHA	7,583,600
ダヌー奨学金	499,800	ダヌー奨学金	500,000
カンカウン準中学校	20,150,200	カンカウン準中学校	20,150,200
サンウン(白樺ライオンズ)	12,182,500	サンウン(白樺ライオンズ)	12,182,500
学校建設事業	7,418,000	学校建設事業	7,418,000
Body Shop	2,771,500	Body Shop	2,771,500
GEERCA	1,435,050	GEERCA	1,435,050
Eco Point	514,850	Eco Point	514,850
JAさがグループ事業 2nd Phase	7,426,000	JAさがグループ事業 2nd Phase	7,426,000
JICA草の根パートナー事業	58,930,400	JICA草の根パートナー事業	55,392,150
管 理 費	1,173,383	YGN vegetable	420,500
Fund Rasing(コーヒー販売用資金)	1,011,090	Fund Rasing(コーヒー)	1,011,700
物販収入(テキスト等)	71,500	Organic Group	3,538,250
研修参加費収入	85,000	管 理 費	4,119,810
事業収入	3,505,980	給料手当	425,000
タンボジ売上	730,000	その他の管理費	3,694,810
ツアー受け入れ	200,000		
その他の事業	290,000		
オープン事業	438,800		
Organic Chicke	738,300		
ヤンゴン野菜販売	766,085		
加工品売上	342,795		
寄付金収入	288,450		
雑収入	4,000		
経常収入合計	562,517,650	経常支出合計	561,931,511
		当期収支差額	586,139
		繰越収 支 差額	36,294,469
		次期繰越収支差額	36,880,608

ミャンマー事務所USドル
財 産 目 録
2014年 3月31日現在

単位:USドル

科目	金額
【資産の部】	
流動資産	
現 金 預 金	236,764
現金 現金手許有高	43,587
普 通 預 金	193,177
立 替 金	1,300
流動資産合計	238,064
資産合計	238,064
【負債の部】	
流動負債	
前 受 金	9,029
ツアー手数料	7,300
寄付金収入	488
その他の資金	1,241
預 り 金	1,270
仮 受 金	227,765
タンボジセンター	-19,601
ナウンカセンター	-23,651
インレー湖給水事業	278,837
ニンニク銀行	56
ナウンシン入植デモファーム	15,767
ボランティア貯金	7,408
TPAぎふ	6,098
御厨基金	2,048
坂井邦夫基金	82
その他の事業	-25,757
スタディーツアー	540
緑の募金	-9,961
管理費	-17,303
地球環境基金	-37,666
センター自立事業	23,088
ボディショップ モリンガ	-3,157
コーヒー販売	-1,054
JA第二フェーズ事業	23,006
JICA	8,985
流動負債合計	238,064
負債合計	238,064
正味財産	0

ミャンマー事務所ミャンマーチャット
財 産 目 録
2014年 3月31日現在

単位:チャット

科目	金額
【資産の部】	
流動資産	
現 金 預 金	5,811,912
現金 現金手許有高	5,811,912
普 通 預 金	719,027
一般	
特別	
会計	
立 替 金	8,500
仮 払 金	5,415,000
タンボジ研修センター	930,000
ナウンカ研修センター	3,015,000
7日間研修費用	200,000
管理諸費	200,000
センター自立事業	1,070,000
流動資産合計	11,936,662
固定資産	
保 証 金	430,500
長 期 貸 付 金	33,865,000
養豚銀行	8,035,000
水牛銀行	17,500,000
ニンニク銀行	5,100,000
ナウンシン入植貸付金	1,130,000
その他の貸付金	2,100,000
その他の固定資産合計	34,295,500
固定資産合計	34,295,500
資産合計	45,174,773
【負債の部】	
流動負債	
預 り 金	1,245,350
仮 受 金	2,057,600
養豚銀行	1,300,000
ナウンシン農業支援貸付	757,600
小 規 模 銀 行 基 金	360,000
流動負債合計	3,662,950
負債合計	3,662,950
正味財産	42,569,212

決算に関する会計報告書

平成26年5月13日、特定非営利活動法人地球市民の会事務局
において、定款第47条の規定により監査の結果、平成25年度（自
平成25年4月1日～至平成26年3月31日）の会計ならびに決
算報告書は適正であることを認めます。

平成26年5月13日

特定非営利活動法人地球市民の会

監事 古賀 和夫 

同 田中 進  (印)

事業計画及び予算

平成 26 年（2014 年）4 月 1 日～平成 27 年（2015 年）3 月 31 日

目 次

◆ 活動方針と重点事業	-P28
◆ 本年度の目標、今後の方向性	-P29
◆ 平成 26 年度（2014 年度）事業計画	-P30
◆ 平成 26 年度（2014 年度）予算	-P31
◆ 平成 26 年度（2014 年度）予算明細	-P32

2014年度の活動方針

今まで以上に誰もが応援したいと思える地球市民の会へ

● 重点項目

- ①活動や成果をより分かりやすくお伝えします
- ②目標会員50名増を目指します
- ③会員やボランティアを含め、
誰もが参加・参画したくなる活動と事業を目指します

● 事業別重点項目

ミャンマー事業

- 1. 有機農業を核として、
地域が自立発展していくための農民及び女性の組織化
- 2. ミャンマー人スタッフの能力強化と主体性の確立
- 3. 2015年からのステージ2事業へ向けての基盤整備

奨学金事業

- 1. 地域に根ざしたスリランカ交流プログラムの実施
- 2. 奨学金事業の充実と子どもたちの教育環境の改善

国内事業

- 1. 都市・農村交流事業の次なる展開の計画策定
- 2. 佐賀市、吉野ヶ里町の中山間地をオリーブや木綿などの
地域資源を活用しての活性化計画策定

平成26年度

本年度の目標、実現したいこと、課題、今後の方向性

● 中山間地の元気再生事業「オリーブ」を事業化していきます

中山間地では少子高齢化により、将来的に消滅する可能性の高い集落の数も増えてきています。そのことで休耕地が急増して鳥獣被害や景観が崩れ、大雨時の2次、3次被害の危険も出てきています。山は管理する人がいるからこそ市街地や海へきれいな水が供給されて防災等にも貢献しています。人が減り、田畑が荒れ、集落が消滅していくことは多くの人たちの生活へ影響を与えていくことです。そういう集落が消滅してからでは復活は難しくなります。私たちは昨年できなかった富士町、吉野ヶ里の休耕地の活用としてオリーブを植え、継続していく地域事業を実施します。地域の方々と連携して主体性をもってもらえるように参加型開発の手法で行っていきます。この事業は都市部の参加の方々と地域の方々と一緒にオリーブ畑を管理し育てていきます。オリーブの事業化を図りながら様々な団体、組織と協働し、会員の皆様の協力で実施していきます。

● ミャンマー事業は、今までの総括と次のステージへ向けた準備の1年です

ミャンマー事業の中核である農作物のマーケット構築事業も本年度が最終年度です。今後、地域の人たちが自立発展していけるよう、各地域で農民の組合をつくり、自分たちで継続していける農産物の販売体制を整えていきます。また、農村女性の組合もつくり、共同して農産物の加工や手工芸を行い、販売できる体制を築き、女性の収入向上を目指していきます。同時に、スタッフの能力強化をはかり、来年度以降、地球市民の会を現地スタッフが中心になっても運営していけるよう主体性の確立を目指します。

● スリランカ奨学生招聘事業にて、佐賀に根ざした国際交流を実施します

2012年に引き続き、スリランカの当会奨学生の代表を佐賀へ呼び、10日間の交流プログラムを行います。地域の若者、一般市民の皆さまにも参加していただき、より地域に開かれた、身近な国際交流を目指します。

● 子どもたちに寄り添う奨学金と、教育環境改善へのアクションを目指します

タイ・ミャンマー・スリランカの子どもたちを取り巻く問題や環境は、当会の奨学金を始めた当初と比べて大きく変わりつつあります。2013年は、より現地の子どもたちのニーズに合った奨学金を目指し、タイの奨学金制度の変更・ミャンマータンボジ奨学金の開始を実施しました。2014年度は、新しい奨学金をより多くの人に知っていただき、定着を目指します。また、現地の協力者と共に、子どもたちを支えていける体制をつくり、子どもたちが安心して学校に通える環境を目指します。

● 誰もが参加しやすいプログラムを作ります

活動に実際触れてもらえるよう、中山間地の活動や里親の集いなど多くの会員の皆様やボランティアの方々が参加しやすいプログラムを行います。

● 活動や成果の情報発信を行います

ホームページの充実やフェイスブックの更新を定期的に行い、多くの方々に活動や成果を知ってもらえるようにします。

● 日中韓大学生交流事業を実施します(TOMODACHI100プロジェクト)

昨年度8月、1回目を実施しました日中韓大学生交流事業。昨年は募集の時に日中韓の関係性もあり目標人数を大きく下回りました。しかし、参加した大学生の満足度も高く、協力してくれた中国、韓国側からの要望もあり今年も実施します。

まだまだ日中韓の関係性は良好とは言えませんが、会員の皆様や協力いただいている関係者と一緒に将来の日中韓を創る活動を行っていきます。

平成26年度事業計画書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 地球市民の会

事業内容	実施時期	実施内容
本部事業		
講師派遣 事業	通期	学校・各種団体への講師派遣
新規事業開発	通期	新規事業の開発
国内地域開発事業		
中山間地元気再生事業	通期	過疎中山間地域の村落開発事業(有明木綿、ベジボーイズなど)
オリーブの森プロジェクト	通期	佐賀市富士町、吉野ヶ里町でのオリーブ事業
ふるさとステイ	7月～8月	小学生を対象にした夏休みキャンプ事業
日中韓大学生交流事業 (TOMODACHI 100プロジェクト)	8月	中国人・韓国人大学生を招聘し、佐賀県全体でのホームステイ事業
協働事業	通期	行政からの委託事業の実施(2事業)
奨学金関連事業		
奨学金	通期	タイ・スリランカ・ミャンマーの中学生・高校生への奨学金支給、タイ大学生への奨学金支給開始
チャリティショップ	通期	アジアの子ども達の教育環境改善を目的としたセカンドハンドショップ運営
スタディツアー	通期	奨学金支給地・チャリティーショップ支援地の視察
教育環境改善プロジェクト	12月～3月	図書プロジェクトの継続実施
スリランカ招聘事業	9月	奨学生代表と引率を佐賀へ招聘。さとおや、地域の若者との交流プログラムを実施
ミャンマー事業		
農業畜産業支援事業		
・JICA 循環型共生社会の自立発展	通年	循環型農産物のマーケット構築、協同集荷・出荷の農民組織のシステム化
・タンボジ農業畜産研修センター	通年	循環型農業普及事業の拠点運営、農村リーダー育成のための青少年(高校生)育成事業
・ナウンカ村落開発センター	通年	農民対象の短期・長期研修の実施、モデルファームの充実、有機資材生産場の運営
・ナウンシンデモファーム	通年	入植者のモニタリング、JICA事業に組み込み、農産物の販促
・JA小規模銀行支援事業	通年	銀行事業実施村における小規模給水、共同農園の堆肥資材支援
開発事業		
・インレー湖給水事業	H25.11月～H26.7月	インレー湖上63村への飲料水の配水事業、循環型農業研修、保健衛生研修の実施
・カロー町給水事業	H25.12月～	カロー町8～10区への配水事業(草の根案件・TPAとしては側方支援)
・チャウタロン地区給水事業	8月～H27.5月	チャウタロン地区への飲料水の配水事業(予定)
教育支援・人材育成事業		
・学校建設・保育園建設	～9月	ナッカン小学校
環境保全事業		
・緑化事業	～6月	インレー湖周辺のマリンガ植林、オイルによる基金創出事業
交流事業		
	9月、3月	TPAスタディツアー実施、鹿児島大学受入など
コミュニティビジネス事業		
	通年	今後の自立発展のための各事業のコミュニティビジネス化の検討

特定非営利活動法人地球市民の会
平成26年(2014年)度 活動予算書

自 平成26年(2014年)4月1日 至平成27年(2015年)3月31日

【経常収入の部】	25年度決算	26年度予算	【経常支出の部】	25年度決算	26年度予算
本部収入	4,801,802	10,166,512	国内管理費	7,514,218	4,642,003
会費収入	3,192,480	3,500,000	直接事業費		611,003
寄附金収入	1,608,543	2,000,000	人件費	5,752,909	2,131,000
その他収入	779	350,000	その他管理費	1,761,309	1,900,000
前期繰越正味財産額		4,316,512	収支計	-2,712,416	5,524,509
国内事業収入	9,970,458	11,787,653	国内事業費	12,067,444	11,296,754
寄附金収入	110,100	0	直接事業費	5,967,662	7,253,754
補助金・助成金等収入	1,100,000	1,774,820	人件費	4,910,233	3,143,000
委託金収入	2,090,696	2,657,833	その他管理費	1,189,549	900,000
事業収入	6,669,662	6,855,000			
前期繰越正味財産額		500,000	収支計	-2,096,986	490,899
奨学金事業収入	3,835,902	7,631,857	奨学金事業費	4,318,183	7,416,700
寄付金収入	3,272,843	4,168,000	直接事業費	1,728,343	4,257,700
助成金収入	200,000	800,000	人件費	2,034,270	2,559,000
委託金収入	0	0	その他管理費	555,570	600,000
事業収入	363,059	830,000			
前期繰越正味財産額		1,833,857	収支計	-482,281	215,157
ミャンマー事業収入	91,015,246	55,684,391	ミャンマー事業費	79,049,788	52,994,549
寄付金収入	4,765,358	3,000,000	直接事業費	71,029,968	44,074,549
助成金収入	68,436,343	2,045,000	人件費	7,190,074	7,920,000
委託金収入	17,248,807	13,562,730	その他管理費	829,746	1,000,000
事業収入	564,738	500,000			
前期繰越正味財産額		36,576,661	収支計	11,965,458	2,689,842
東日本大震災支援事業収入	729,504	0	東日本大震災支援事業費	2,180,309	0
寄付金収入	569,736	0	直接事業費	2,128,586	0
助成金収入	108,268		人件費		0
雑収入			その他管理費	51,723	0
事業収入	51,500		収支計	-1,450,805	0
経常収入合計	110,352,912	85,270,413	経常支出合計	105,129,942	76,350,006
			当期経常収支差額	5,222,970	8,920,407
			繰入金収入		
			ミャンマー未使用資金戻入益	23,426,086	
			寄付物品売却損	254,320	1,500,000
			ミャンマー未送金資金繰入損	-1,453,013	
			法人税、住民税及び事業税	81,000	81,000
			当期正味財産増減額	29,766,749	7,339,407
			前期繰越正味財産額	13,460,281	
			次期繰越正味財産額	43,227,030	7,339,407

平成26年度(2014年度)予算明細

本部	収入合計	10,166,512	支出合計	4,642,003
	会費収入	3,500,000	ハッピーストック	611,003
	寄付金収入	2,000,000	人件費	2,131,000
	自主事業収入	300,000	共通管理費	1,900,000
	講師派遣	300,000		
	その他の収入	50,000		
	前期繰越金	4,316,512	収支差額	5,524,509
国内事業	収入合計	11,787,653	支出合計	11,296,754
	助成金収入	1,774,820	直接事業費	7,253,754
	JT NPO助成事業(オリーブ)	1,474,820	TOMODACHI 100 プロジェクト	3,685,500
	双日国際交流財団(TOMO100)	300,000	ふるさとステイ	1,469,000
	委託金収入	2,657,833	オリーブプロジェクト(イオン環境財団)	500,000
	佐賀県協力隊を育てる会 事務局委託費	50,000	佐賀市委託事業①	350,000
	さがグリーンツーリズム研究会 事務局委託費	20,000	佐賀市委託事業②	434,434
	佐賀市委託事業①	500,000	オリーブプロジェクト(JT)	814,820
	佐賀市委託事業②	2,087,833	直接人件費	3,143,000
	自主事業収入	6,855,000	共通管理費	900,000
	TOMODACHI 100 プロジェクト	4,375,000		
	ふるさとステイ	2,380,000		
	オリーブ命名権1万円/本×10人	100,000		
	前期繰越金イオン環境財団	500,000	収支差額	490,899
奨学金事業	収入合計	7,631,857	支出合計	7,416,700
	寄付金収入【奨学金のみ】	4,168,000	直接事業費	4,257,700
	タイ奨学金(クーキャオ)	708,000	奨学金現地送金	2,080,800
	タイ奨学金(ノンハーン)	288,000	奨学金現地管理費(タイ) ※事務局現地調査費に充当	192,600
	タイ奨学金(大学生)	288,000	奨学金現地管理費 (スリランカ・ミャンマー)	415,800
	スリランカ奨学金	420,000	スリランカ招聘事業	892,500
	ミャンマー奨学金	1,764,000	タイ教育環境改善プロジェクト	200,000
	スリランカ寄付金	250,000	タイツアー	476,000
	タイ教育基金寄付	50,000	直接人件費	2,559,000
	自販機売上げ寄付	400,000	共通管理費	600,000
	助成金収入	800,000		
	スリランカ招聘・助成金	800,000		
	自主事業収入	830,000		
	タイツアー	560,000		
	チャリティショップ売り上げ	250,000		
	物販	20,000		
	前期繰越金	1,833,857	収支差額	215,157
ミャンマー事業	収入合計	55,684,391	支出合計	52,994,549
	寄付金収入	3,000,000	直接事業費	44,074,549
	学校建設	2,000,000	JICA草の根技術協力事業	6,000,000
	JA農業支援	1,000,000	インレー湖給水事業(N連)	11,023,463
	助成金収入	2,045,000	学校建設	1,800,000
	緑の募金(2013年度精算)	765,000	環境保全事業	700,000
	外務省NGO連携無償資金協力	1,280,000	JA農業畜産業支援事業	750,000
	委託金収入	13,562,730	ツアー	375,000
	JICA草の根技術協力	13,562,730	ミャンマー未使用資金	23,426,086
	自主事業収入	500,000	直接人件費	7,920,000
	スタディツアー	500,000	国内	2,820,000
	前期繰越金	36,576,661	ミャンマー	5,100,000
			共通管理費	1,000,000
			収支差額	2,689,842
全体	収入合計	85,270,413	支出合計	76,350,006

名誉職

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
永久名誉会長	古賀 武夫		
名誉会長	古川 康	佐賀県	知事
名誉副会長	秀島 敏行	佐賀市役所	市長

顧問

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
顧問	井戸 敏三	兵庫県	知事
顧問	稲田 繁生	伊万里学園/敬徳高校	理事長
顧問	今泉 由紀夫	佐賀県国際交流課	課長
顧問	今村 雅弘	衆議院	議員
顧問	井本 勇	学校法人佐賀清和学園	理事長
顧問	大草 秀幸	企画工房リプロ	代表
顧問	大串 博志	衆議院	議員
顧問	川崎 稔		
顧問	小原 健史	(株)和多屋別荘	代表取締役
顧問	小原 嘉文	嬉野温泉観光(株)	代表取締役社長
顧問	小山 高生	脚本家/大阪芸術大学	教授
顧問	佐伯 義統	社会保険労務士 佐伯社会保険労務士事務所	所長
顧問	坂井 学	衆議院	議員
顧問	薩摩 和男	(株)美々卯	社長
顧問	三遊亭歌之介	落語家	
顧問	豊田 泰光	野球評論家	
顧問	上甲 晃	志ネットワーク	代表
顧問	中尾 清一郎	(株)佐賀新聞社	社長
顧問	佛淵 孝夫	国立大学法人佐賀大学	学長
顧問	原口 一博	衆議院	議員
顧問	平湯 慎介	ヒラユコーポレーション	代表取締役社長
顧問	福岡 資麿	参議院	議員
顧問	保利 耕輔	衆議院	議員
顧問	マリ クリスティーヌ	有限会社 エムキューブインターナショナル	
顧問	牟田 清敬	牟田法律事務所	弁護士

評議員

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
評議員	有岡 大介	(株)サガテレビ	主任
評議員	大島 隆	和食処おおしま	代表取締役
評議員	小松 敏正	小松商店 金属部	専務
評議員	副島 正幸	潮音寺	住職
評議員	田島 広一	田島興産株式会社	代表取締役
評議員	富吉 賢太郎	佐賀新聞社	編集局長
評議員	原 康彦	佐賀県議会	議員
評議員	平野 喜幸	NPO法人れんげ国際ボランティア会	ミャンマープロジェクトディレクター
評議員	深川 千幹	佐賀市立思斉館 中学部	
評議員	藤 雅仁	株式会社七浦/道の駅鹿島	統括部長／事務局長
評議員	前田 英彦	長崎県松浦市役所	
評議員	満岡 聡	満岡内科消化器科医院	院長
評議員	峰 悦男	峰公認会計士事務所	代表
評議員	宮地 大治	(株)佐賀電算センター	代表取締役社長
評議員	百生 詩緒子	独立行政法人 国際協力機構	専門家(タイ)

特定非営利活動法人地球市民の会 平成26年度役員

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
会長	佐藤 昭二	一般社団法人 ふる里再生協会	専務理事
副会長	多良 淳二	(財)佐賀銀行文化財団	事務局長
副会長	山口 久臣	一般社団法人 アイ・オー・イー	代表理事
副会長	草場 一壽	今心工房	陶彩画家

理事

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
理事長	山下 雄司	(株)サガプリンティング	専務取締役
専務理事	大野 博之	一般社団法人 ユバーサル人材開発研究所	代表理事
理事	青柳 達也	古賀英語道場	代表
理事	五十嵐 勉	国立大学法人佐賀大学 全学教育機構	教授
理事	稲富 正人	佐賀県自治修習所	所長
理事	古賀 大之	一般社団法人 和スポーツクラブさが	理事長
理事(兼任)	多良 淳二	(財)佐賀銀行文化財団	事務局長
理事	高橋 良輔	国立大学法人佐賀大学 文化教育学部 国際文化課程	准教授
理事	土井 敏弘	みどりや茶舗	代表
理事	成尾 雅貴	熊本県庁 くまもとブランド推進課	課長
理事	西村 一守	Produce Office Nishimura PON	代表
理事	西村 尚子	西村歯科医院	
理事	増田 誠司	(株)増屋	代表取締役
理事	松前 あかね	グローバルブリッジ	代表
理事	八田 康博	(有)八田工作所	代表取締役
理事(兼任)	山口 久臣	一般社団法人 アイ・オー・イー	代表理事
監事	田中 進	(株)佐賀電算センター	代表取締役会長
監事	古賀 和夫	有限会社 ニューポーン新古賀	代表取締役

会長・副会長の役割 地球市民の会の理念や活動について対外的に伝える代表です。

理事の役割 理事は会の経営に携わり、意思決定とその責任を有します。
理事長は、経営権を持ち、活動に対する指揮権と責任を有します。
副理事長は理事長を補佐します。
専務理事は理事会の決定実施するために事務局を統括します。

監査の役割 活動内容が理念や社会的規範から離れていないかなどの問題がないかを、
また、財務会計状況に問題がないかを監査します。

会員総会の役割 会の最高意思決定機関です。理念や目的を達成するための各種事業に対して是非の判断します
総会及び会長、副会長に対して専門的な立場から指導又は助言等を行ないます。
理事会の経営や事業実施に対して専門的な立場から指導又は助言等を行います。

地球市民の会 30 年の歴史

- 1973 年 「佐賀フランス研究会」 設立(地球市民の会の前身)
- 1980 年 「古賀英語道場・佐賀日仏文化会館」 設立
- 1983 年 「地球市民の会」 設立
- 1986 年 第 1 回小さな地球計画開始
- 1987 年 日タイ協力事業開始
- 1988 年 日韓交流プログラム「かちがらす計画」開始
- 1990 年 地球市民奨学金開始
- 1992 年 人間の持つべき文明「テラアピール」発表
- 1993 年 地球共感シンポジウム、アジア太平洋協力会議 実施
- 1995 年 地球市民運動全国会議実施、スリランカ協力事業開始
- 2002 年 NPO 法人格取得
- 2003 年 ミャンマープロジェクト開始
- 2008 年 創始者 古賀武夫 逝去
- 2009 年 人間の持つべき文明 2009「テラアピール 2009」提唱
- 2009 年 佐賀市中山間地元気再生事業開始
- 2010 年 国税庁より認定 NPO として認定
- 2011 年 ASC2008 認証
- 2011 年 東日本大震災復興支援事業開始
- 2013 年 創立 30 周年記念・北澤氏講演会



地球市民の会 主な褒章

- 1988 年 サントリー地域文化賞
- 1989 年 国際交流基金地域交流振興賞
- 1994 年 佐賀県県政功労者知事賞
- 1996 年 自治大臣表彰
- 1996 年 厚生大臣感謝状
- 2000 年 外務大臣表彰
- 2003 年 にしぎんアジア貢献賞
- 2006 年 地球倫理推進賞
- 2006 年 文部科学大臣奨励賞



TOMODACHI100 プロジェクト(日中韓大学生交流)

地球市民の会組織図 2014 年度

